

令和7年度 第1回 三木市国民健康保険運営協議会 議事録

1 日時

令和7年8月28日(木) 午後1時30分～午後2時50分
三木市役所 4階 特別会議室

2 出席者

石田委員、岩崎委員、清水委員、田中委員(被保険者代表)、松永委員、
小島委員、田中委員(保険医及び薬剤師代表)、島谷委員、
鷺尾委員【会長】、奥野委員、田中委員(公益代表)、植田委員、
藤木委員、鈴木委員、白國委員

【事務局】

石田副市長、降松市民生活部長、坂本保険年金課長、西本税務課長、
石原健康増進課長、橋本保険年金課国民健康保険係長、
藤原保険年金課主任

3 公開

傍聴人 なし

4 会議内容

- (1) 開会 保険年金課長
- (2) あいさつ 石田副市長による挨拶
- (3) 新委員の紹介、会長の選任
- (4) 会長あいさつ 鷺尾会長による挨拶
- (5) 事務局紹介
- (6) 出席状況の報告
委員17名中15名出席で過半数を超えているので会議成立
- (7) 議事録署名委員の指名 田中委員(保険医及び薬剤師代表)、藤木委員
を指名
- (8) 協議事項
 - (ア) 令和6年度国民健康保険事業報告及び決算(見込み)について
 - (イ) 令和7年度国民健康保険事業及び予算について

— 事務局 —

資料に基づき説明

- (ア) 令和6年度国民健康保険事業報告及び決算(見込み)について
・令和7年度第1回三木市国民健康保険運営協議会資料(P1～P11)

委員：

保険税の収納率について聞きたい。令和3年度は95.1%となっていた。しかし、令和4年度以降の収納率が落ちており、この要因を教えて欲しい。収納率の1ポイントはかなり大きなものであると考える。

事務局：

令和5年度・令和6年度の推移については、物価高の影響によって、期限内に納めることが困難な事例が増えてきたと分析している。令和3年度については、当時、新型コロナウイルス感染症によるコロナ減免があり、その分、調定額が少なくなっているため、比較の対象とはできないと考えている。

委員：

収支が赤字だった時と比べて、良好な収支バランスになってきたことは素晴らしいと思う。また、黒字に転換した取組みの一つに特定健診受診率の向上があり、数年前は県下でもほぼ最下位だったのが、今現在、20位になったのも素晴らしいと思う。

それに関連してだが、みなし健診の周知はどうしているかを教えて欲しい。既に医療機関にかかっているという理由で特定健診を受診しない方は多いと思う。そういう方に対してどのように働きかけているのか。また、みなし健診の受診率はどうなっているか。

事務局：

みなし健診の周知については、4月に全世帯に送付する「町ぐるみ健診のお知らせ」の中にチラシを入れている。チラシには電子申請の二次元コードも載せており、名前等をお知らせいただくことで、みなし健診用の簡易受診票を10月末頃に送付している。

また、市でもみなし健診対象者を抽出し、対象者に対してみなし健診用の簡易受診票を10月末頃に送付している。送付対象者は、令和6年度でいうと、令和5年度中に特定健診の検査項目を満たす検査を医療機関で実施している被保険者を抽出し、発送日時点で特定健診の受診又は受診申込のない者としている。

令和6年度は1,642名に対して「みなし健診の協力依頼文書及びみなし健診の簡易受診票」を送付した。そのうち、275名の方（約17%）にご協力いただけた。

委員：

17%という数字をどう見るか。医療機関で実施する血液検査の項目数は、町ぐるみ健診の項目数よりも多いと思う。みなし健診でより自分自身の健康状態も理解できると思うので、みなし健診の周知をより一層はかっていくことで、より受診率は上がっていくと思う。

また、町ぐるみ健診のお知らせ封筒の同封物の内容が、以前に比べたら非常に分かりやすくなった。かなり改善されてきたと感じる。加えて、みっきい☆健康アプリとの連携で健診を受診することでポイントを獲得できるということも、受診につながっているのではと感じている。

委員：

17%のみなし健診提出率はかなり高いと思う。健康保険組合でも取り組んでいる保険者はいるが、10%届かないぐらいが平均的な水準だと思う。

対象者の抽出は、レセプトから病名や検査数値等を拾わないといけないので大変だと思うが、どのように作業しているのか。

事務局：

対象者の抽出はKDB補完システムを利用している。このシステムから対象期間中に必要な検査を実施しているかどうかを抽出・確認している。

委員：

「みなし健診」とはどういうものを教えて欲しい。

意見だが、健診の受診時に思うことは、血液検査などは医療機関でも受けるから分かるが、町ぐるみ健診では、骨粗鬆症検診、眼底検査、各種がん検診など、普段受けていない検査を受けることができることが魅力だと思うので、そこをもっとアピールすると良いのではと思う。

事務局：

みなし健診は、受診率向上をめざして三木市国保で実施しているものであり、三木市国保加入者の40歳から74歳の方が対象になる。

生活習慣病等で定期的に医療機関を受診し血液検査等を実施している方は、既に医療機関を受診しているという理由で特定健診を受診されない方が多い。「みなし健診」は、医療機関で実施した血液検査等の結果を市に提供してもらうことであり、提供をいただいた方は、特定健診を受診したものとみなすことができる。結果として、受診率の向上につながる。

— 事務局 —

資料に基づき説明

(イ) 令和 7 年度国民健康保険事業及び予算について

・令和 7 年度第 1 回三木市国民健康保険運営協議会資料 (P12~P21)

= 委員からの質問なし =

— 議 事 終 了 —

5 その他

事務連絡

6 閉会

降松市民生活部長挨拶

終了 午後 2 時 50 分